

災害廃棄物処理を支援

台風12号被害の紀宝町で

みえ清掃
事業協議会

台風12号による豪雨で被害が出た三重県紀宝町で、「みえ清掃事業協議会」のメンバーは9月18日と25日の両日、同町からの協力要請を受けて災害廃棄物処理の支援を行った。全国清掃事業連合会を通じて、岐阜清掃事業協同組合と愛知県地域環境創造協会からも参加。延べ39人がアイムロールやダンプカーなどの重機、車両で作業を実施した。

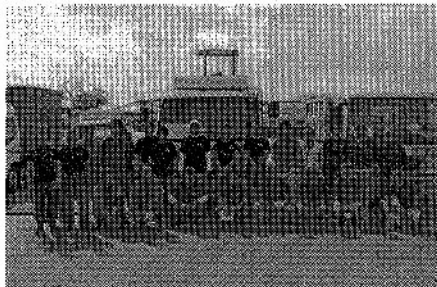
有志らは、浸水した家屋から出た粗大ごみや土砂など、町内の路上に残された廃棄物(同日計約300立方メートル)を収集。豊・家電・金屑くず類・木くず・その他雑芥の5品目に分別した上で、仮集積場所である町営運動場へ運搬した。

参加団体・企業は、▽全国清掃事業連合会▽みえ清掃事業協議会▽三功、進栄サービス、向陽、クリンテック名張、ナカムラ、太陽産商、小崎商店▽岐阜清掃事業協同組合▽野々村商店、山田組▽愛知県地域環境創造協会▽トリアクリン、明輝クリーナー。

同協議会の片野宜之代表(三功・社長)は、「参加者の中には、東北復興支援活動に参加したメンバーもあり、作業がスムーズにはかどった。今後も、日常の業務スキルを生かしてできることがあれば支援活動を続けていきたい」と話している。



道路の土砂積み込み作業



支援活動の参加者ら